

日産が長期的に利益ある成長の道に復帰する上で、ルノーとの提携は重要な役割を果たしました。提携のシナジー効果により、共同購買、生産協力、共通プラットフォーム、世界の市場での販売網強化など、広い領域に渡る数多くの成果が生み出されました。

成長のためのシナジー効果

1999年3月27日、日産とルノーは提携の合意を交わしました。これはお互いの文化やアイデンティティを尊重する形で日本とフランスの企業間で結ばれた最初の提携関係です。両社共通の目的を、利益ある成長とビジネス価値の共有に置き、共通の目的を推進するため、1999年6月にはほとんどの業務領域をカバーする共同体制を立ち上げました。

現在、日産とルノーのグローバル販売台数は年間500万台を超え、グローバル市場で9%以上のシェアを獲得しています。

また両社は販売や生産の面で強力な補完関係にあり、グローバルな自動車市場での発展を可能にしてきました。またこれらの補完関係により、原価低減やシナジー効果につながるベストプラクティスの交換も生まれています。



日産モーター・イベリカ会社の「プリマスター」組立ライン

現在両社は互いの収益に直接的な貢献をしています。2003年3月末時点で、ルノーは日産の株式44.3%を保有し、日産はルノーの株式15%を保有しています。

提携の運営組織

2002年3月28日、共同運営組織「ルノー・日産BV」を設立しました。「ルノー・日産BV」は当社とルノーが共同で、且つ対等の立場で運営する統括会社であり、その下には「アライアンス・ボード」が置かれています。第1回アライアンス・ボードは2002年5月29日に開催されました。

アライアンス・ボードは中長期（3年、5年及び10年）戦略、商品・パワートレインの共通化、及び財務方針に関する原則を決定する役割を担います。またアライアンス・ボードは共同会社の設立、市場戦略・商品体系の大幅な変更、大規模な投資、及び第三者との戦略的な協業等についての提案を行うことができる唯一の組織で、2つの共同会社「ルノー・ニッサンパーチェシングオーガニゼーション(RNPO)」と「ルノー・日産インフォメーションサービス(RNIS)」の管理を行っています。

提携の成果

提携の締結後4年の間に早くも多くの成果が生み出されました。その内容は共通プラットフォームの開発、互いの生産設備の有効活用、研究開発協力、そして購買、情報システム、販売の分野における共同組織の設立などです。



日産とルノーの初の共同工場、ブラジル・クリチバ工場にて、第1号生産車「フロンティアピックアップ」のオフライン式



RENAULT NISSAN

商品:

商品の相互活用、共通プラットフォーム、 パワートレインの相互活用

2001年	9月: 日産のトランスミッションを搭載したルノー「カン グー4x4」発売
2002年	3月: 共通プラットフォームを採用した最初のモデル日 産「マーチ」、日本にて発売
	3月: 日産のVQ35エンジン (V6、3.5リッター) を搭 載したルノー「ベルサティス」発売
	3月: ルノー「マスター」をベースとした日産「インター スター」、欧州にて発売
	4月: 日産の メキシコ・アグアスカリエンテス工場 で生産された日産「プラティエラ」販売開始
	9月: 共通Cプラットフォームを採用したルノー「メガ ヌII」発売
2003年	10月: 欧州最初の共同生産車 (スペイン・バルセロナ工 場)「X83コンパクトバン」を日産「プリマスター」 として発売
	12月: ルノーの1.5リッターディーゼルエンジンを搭載し た日産「アルメーラ」、欧州にて発売
	12月: ルノーの1.9リッターディーゼルエンジンを搭載し た日産「プリメーラ」、欧州にて発売
2003年	4月: 欧州市場におけるコモンレールディーゼルエンジ ンの新ラインナップが完成

販売・マーケティング:

パートナーのサポートによる新規市場への参入、 販売網の再編成

2000年	10月: モロッコにてルノーが日産車の販売開始
2001年	2月: スイスとオランダにて初の日産・ルノー共同の販 売統括会社 (SLE) 設立
	5月: オーストラリアにて、日産の支援を受けたルノーが 初のショールームをオープン
	7月: 台湾にて、日産の現地販売網を活用したルノー車 の販売開始
	11月: インドネシアにて、日産の現地配給会社を活用し たルノー車の販売開始
2002年	9月: ドイツにて、3番目のSLE設立.
	12月: パナマにて、当社のパートナーであるFASAグ ループがルノー車の輸入開始

2003年	1月: クウェートにて、日産の現地販売網を活用したル ノー車の販売開始
	1月: ルーマニアにて、ルノーが日産車の輸入・配給管 理を開始
	2月: バーレーンにて、日産の現地販売網を活用したル ノー車の販売開始
	5月: カタールにて、日産の現地販売網を活用したル ノー車の販売開始
	5月: チュニジアにて、ルノー車の輸入を行うARTESが 日産車の配給を開始
	6月: オーストリアにて、4番目のSLE設立

生産:

生産設備の相互活用、ベストプラクティスの交換

2000年	12月: 日産のメキシコ・クエルナバカ工場にて、ルノー 「セニック」生産開始
2001年	12月: 日産のメキシコ・アグアスカリエンテス工場にて、 ルノー「クリオ」生産開始
	12月: ブラジル・クリチバにて、共同の商用車工場を竣工
2002年	12月: ブラジル・クリチバ商用車工場にて最初の生産車 となるルノー「マスターバン」生産開始
	3月: ルノー「クリオ」をベースとした日産「プラティエ ラ」、メキシコ・アグアスカリエンテス工場にて生 産開始
	4月: ブラジル・クリチバ商用車工場にて2番目の生産 車となる日産「フロンティアピックアップ」生産開始
2003年	10月: 日産のスペイン・バルセロナ工場にて、欧州最初 の共同生産車「X83コンパクトバン」生産開始
	3月: ブラジル・クリチバ商用車工場にて3番目の生産 車となる日産「エクステラ」生産開始

購買・情報システム

2001年	4月: 共同会社「ルノー・日産・ニッサンパースナライズ サービス (RNPO)」設立
2002年	7月: 共同会社「ルノー・日産インフォメーションサービ ス」(RNIS) 設立